

渡辺ハウジングOBの皆様と
未来のお客様にお届けする

やすらぎ通信

渡辺ハウジング
03-3959-8743



きれいに色づいた街路樹も葉を落とし、すっかり冬の景色に変わりました。

早いもので、今年も暮れようとしています。

コロナの心配が未だ消えず、心の休まらない中で迎えた年末ですが、皆様には、どんな1年でしたでしょうか？



さまざまな制約の中で、些細なことに一喜一憂し1日も早く元の日常を取り戻せることを願った時が何度もありました。来年こそは、ウサギのように力強い足取りで前に進む年にしたいものですね。

お忙しい時期ですが、お身体くれぐれもご自愛ください。

快適な生活をするために (3)

前回に引き続き、皆さんに長く安全に過ごしていただくための住まいを長持ちさせるメンテナンスやチェックポイントなどをお伝えしたいと思います。

【木造外壁】

今ではあまり見かけませんが、外壁に木板を使用している場合は時々点検して、割れたり、はずれたりしている部分があれば補修が必要です。また、塗装も3年に一度位は行うようにしたいものです。

【屋根・バルコニー】

アンテナ工事など屋根に上る必要のある作業は、転落事故を引き起こしかねません。大変危険ですので、専門の業者に依頼して下さい。



【瓦葺き】

瓦は、軒先付近を重点的に釘止めされていますが、ズレが生じることがあります。

地震や台風の後などは、瓦の割れ・ズレ・剥がれなどを点検し、異常がある場合は専門の業者に補修を頼んで下さい。

【金属板屋根】

亜鉛鉄板など金属板屋根のサビを放置するとその寿命を著しく短くしますので、サビが出る前に塗装を行うことが大切です。

通常は3年に一度位が目安ですが、住まいが海岸から近い所や工場地帯にある場合には、もう少し早い時期に塗り替えをする必要があります。

【アンテナ工事など】

TV アンテナなどを屋根に設置する場合は、屋根葺き材などにズレや破損を与えないように十分注意する必要があります。

屋根葺き材は、集中して加えられた荷重や衝撃に、それほど強くないので不用意に体重を乗せかけたり、物を置いたりすると雨漏りなどの原因になることがあるのでご注意下さい。



次号に続く

「一陽来復 (いちようらいふく)」

冬至のことを一陽来復とも言います。

「一陽来復」は、中国の「易経」に出てくる言葉で、中国の昔の暦では10月は全て陰の気で覆われ、11月になると陽の気が復活し、冬至を境に長くなっていくとされています。

つまり、衰えていた太陽の力が再び勢いを増してくるというわけです。

そのため、新しい年がくるという意味の他に、悪いことが続いた後に幸運に向かうという意味も込められているのです。

良くないことが続いて辛い思いをしている人も、冬至が来たら「さあ、これからは良いことがどんどんやって来る」と気持ちを切り替えましょう。

冬至とは、そういうきっかけを与えてくれる日でもあるのですね。



結婚記念日の残業



未だコロナの感染が完全終結とはならず、相変わらず在宅での仕事が続いていますが、毎日出勤していた頃の、勤務先の上司の温かい心遣いを時々懐かしく思い出することがあります。

あれは、入社4年目での初めての結婚記念日のこと。

俺たちは、2人でその日をお祝いするのを楽しみにしていました。

ところが、運悪く社内でトラブルが発生。しかも下手したら全員、会社に泊まりになるかも知れないという修羅場に。

そんな状況の中、「今日は、結婚記念日なので帰らせてください」とは絶対に言えなかった。

皆がバタバタ忙しそうにトラブル解消に奔走していた。

そして時計が5時を回った頃、上司のT課長が俺を呼びつけ、封筒を手渡し、

「これを今からK物産に届けろ」と言う。

K物産は、隣の県にある我が社の大事な得意先で、今から車で出掛けても夜8時までに着けるかどうかさえわからない。

T課長は、「届けたら、そのまま直帰していいから・・・」とは言いが、直帰も何もK物産に届けて家まで帰ったら、きっと夜11時は過ぎるだろう。

今日は、自分たちにとって大切な記念すべき日なのに・・・

妻も、俺の帰りを楽しみに待っているはずなのに何故、どうして??

文句を言いたかったが、「わかりました」と言って封筒を預かった。

その場で中身を確認しようとする、
「中身は車の中で見ろ。いいからさっさと行け！」とつれないT課長。

不満たらたらの思いで「行ってきます」と言い、課内の同情の目に送られて駐車場へ向かった。

車に乗り込み、さっそく封筒を開けると、中に一枚の紙切れが。

そこには、「〇〇君、結婚記念日おめでとう。今日は、このまま自宅へ帰りなさい」と書かれていた。



結婚記念日おめでとう

ご存じだったんですね。

その心遣いが嬉しくて、俺は入社以来、初めて泣いた。

その翌年、T課長は実家の家業を継ぐため退社されることになり、送別会の席であの時のお礼を言ったら「そんなことあったか？」と空とぼけていました。

T課長、お元気でしょうか。

あの時は、本当に有難うございました。

「編集後記」

「光陰矢の如し」

今年もいよいよ余日少なくなってきました。

振り返れば、悲喜交々様々なことがありましたが、何より健康で無事に過ごすことができたことに感謝です。

いよいよ終息か?と期待したコロナは衰えを見せず、その威力に脱帽。1日も早く勝利宣言を聞きたいものですね。

ここにきて寒さも厳しさを増していますので、十分注意をして年末の多忙な時期を元気に乗り越えてください。

今年1年、大変お世話になり有難うございました。

皆様お揃いで、どうぞ良いお年をお迎えください。



「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。

ご希望の方は、アドレスをお知らせください。

渡辺ハウジング 社員一同